

アルファテラスRA・RB型(出隅仕様)取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

- 出隅部以外の組立て・取付けおよび施工上のご注意・製品の取扱いについては、アルファテラス本体に同梱してある取付け説明書をご覧ください。
- 同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲ 注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 注意

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリング処理

- ・ 指定の個所（特に接続部）にシーリング材を充てんしてください。
- ・ 外壁の上から部材を取付ける場合は、シーリング材を下穴に充てんしてからねじ止めてください。
- ・ シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

■シーリングメーカー

- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・東レシリコン SE960

※製品落下および転落のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・タッピンねじ、コーチボルトの下穴には指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・タッピンねじ、コーチボルトは柱、間柱、胴差などの構造材に必ず止めてください。
- ・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。

●部材の固定

- ・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。
- ・垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。

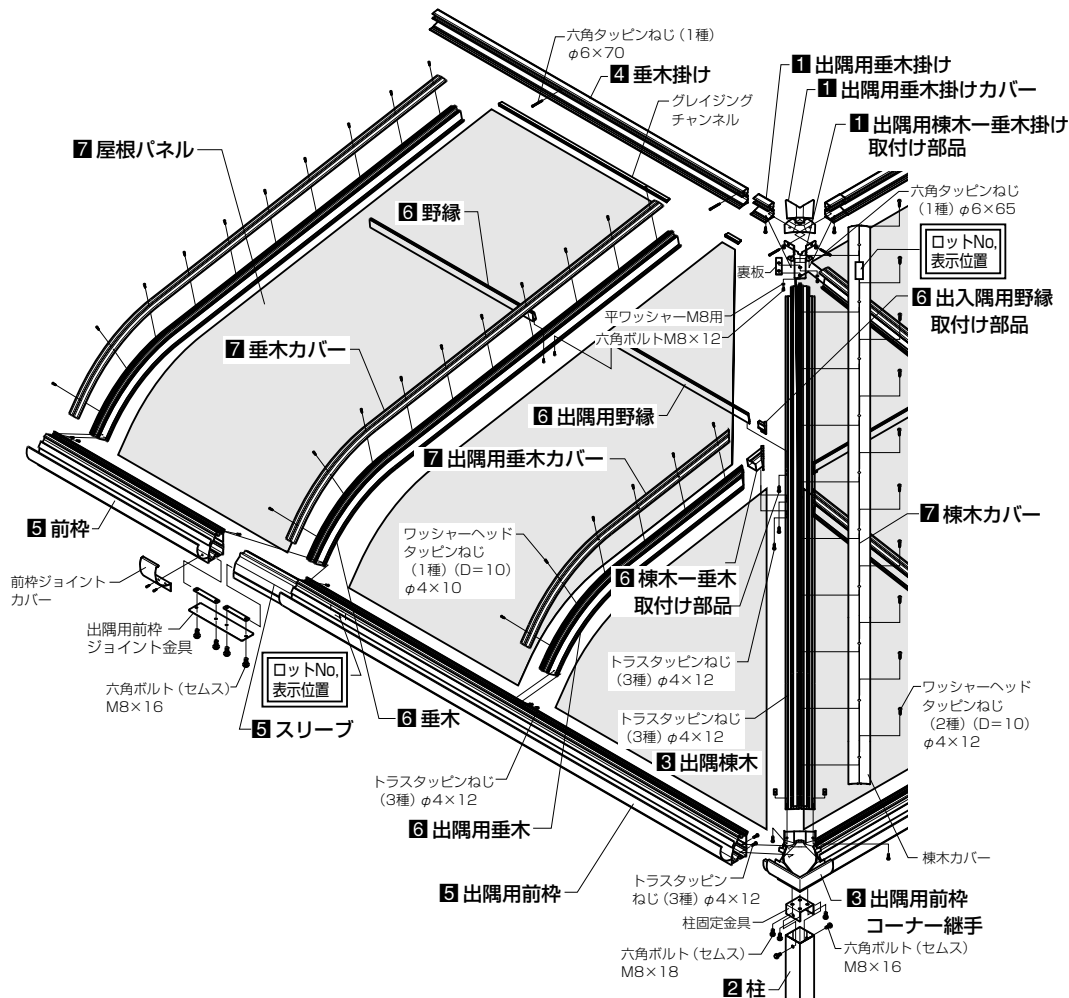
●取付け上について

※製品が600タイプの場合、前枠に張られている「1500タイプ」のブランドラベルをはがし、棟木に同梱されている「600タイプ」のブランドラベルに張替えてください。ただし、前枠に「600タイプ」のブランドラベルが張られている場合には、張替えは不要です。

■取付け上のお願い

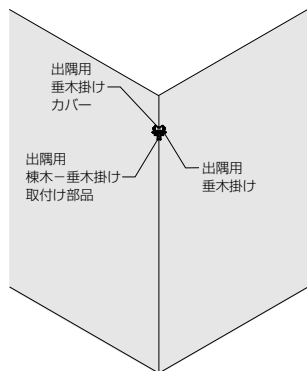
- 取付けは専門業者が行ってください。

■構造説明図

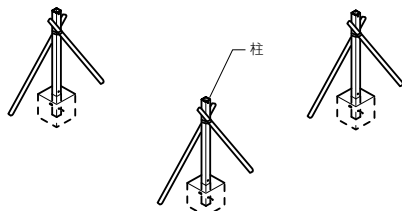


■取付け手順

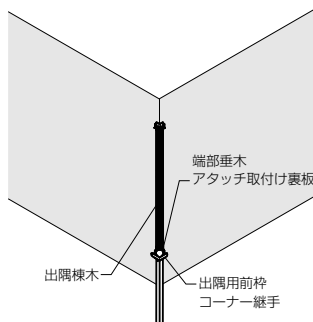
1 出隅用垂木掛けの取付け



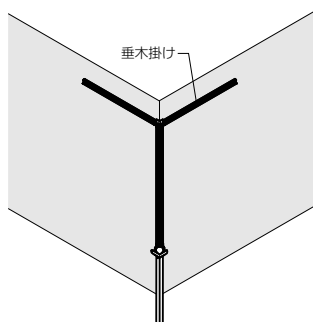
2 柱の位置決め



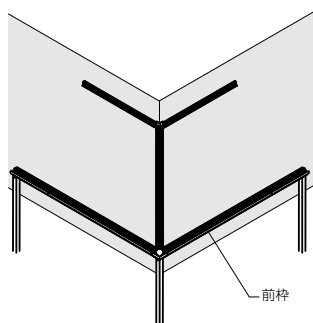
3 棟木の取付け



4 垂木掛けの取付け



5 前枠の取付け



■取付け詳細

1 出隅用垂木掛けの取付け

- ①出隅用垂木掛け、出隅用棟木-垂木掛け取付け金具、出隅用垂木掛けカバーを組立てます。(図-1 参照)
 - ②位置を合わせ出隅用垂木掛けを躯体に取付けます。
 - ③躯体と垂木掛けのすき間にシーリングしてください。
- ※垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱に取付けてください。
※指定個所に確実にシーリングしてください。

▲注意

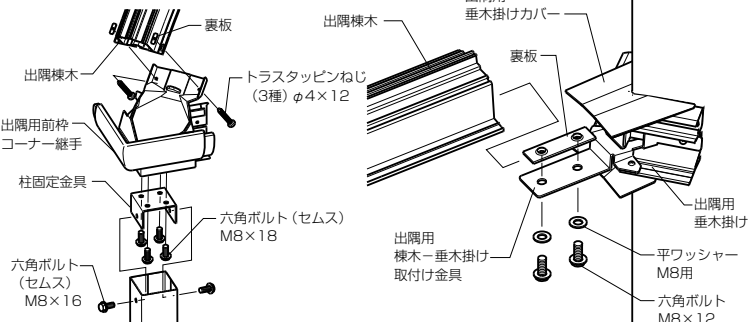
- 垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

2 柱の位置決め

- 姿図より、柱の位置出しをし基礎穴を掘ります。
- ※基礎穴への柱の納まりは本体を参照してください。

3 棟木の取付け

- ①出隅用前枠コーナー継手に柱固定金具を取付け、出隅部の柱上部に固定します。
- ②棟木のホルに裏板を挿入し、出隅用棟木-垂木掛け取付け金具と棟木を固定します。
- ③前枠コーナー継手に出隅棟木を取付けます。

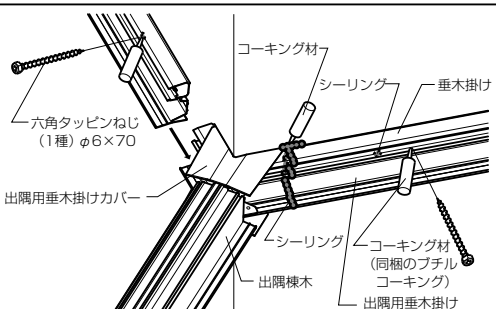
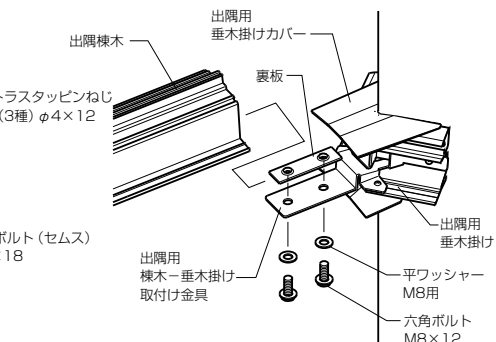
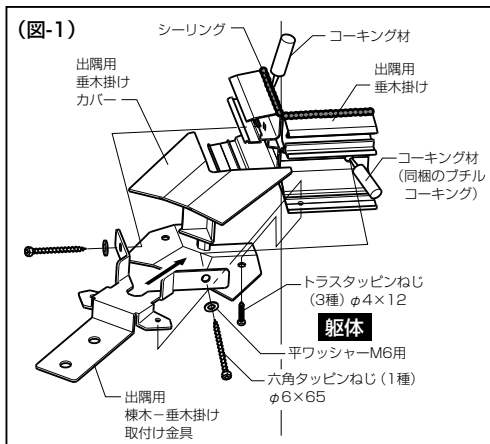


4 垂木掛けの取付け

- 出隅用垂木掛けに合わせて垂木掛けを取付けます。

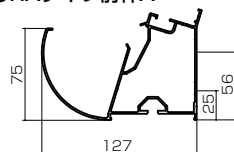
5 前枠の取付け

- ①出隅用前枠にスリーブをけがき線まで差込み、ポンチ跡に合わせてφ3.5穴をあけます。スリーブをねじ止めしてください。
- ②前枠を加工してスリーブに差込み、加工穴に合わせてスリーブに写し穴φ3.5をあけてねじ止めします。

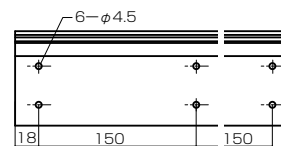
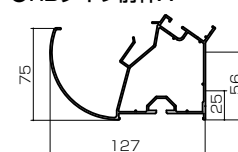


■前枠加工図 (内観右用。左用は本図と対称)

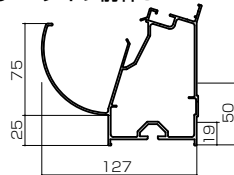
●RAタイプ前枠A



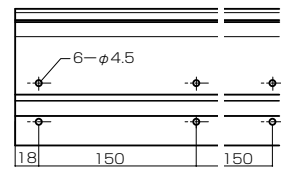
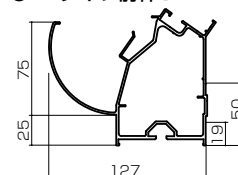
●RBタイプ前枠A



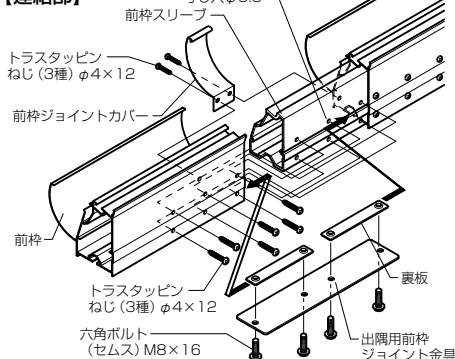
●RAタイプ前枠C



●RBタイプ前枠C



【連結部】

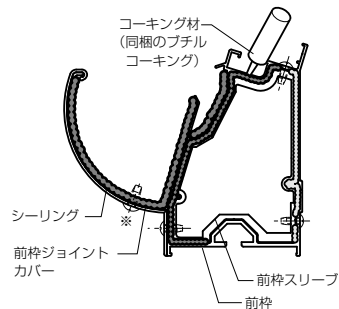


※前枠スリーブをねじ12本で固定してください。

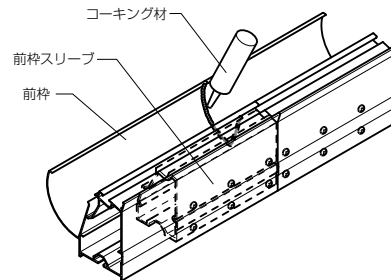
▲注意

- 製品が600タイプの場合、前枠に張られている「1500タイプ」のブランドラベルをはがし、棟木に同梱されている「600タイプ」のブランドラベルに張替えてください。ただし、前枠に「600タイプ」のブランドラベルが張られている場合には、張替えは不要です。

※ジョイント部シーリング箇所



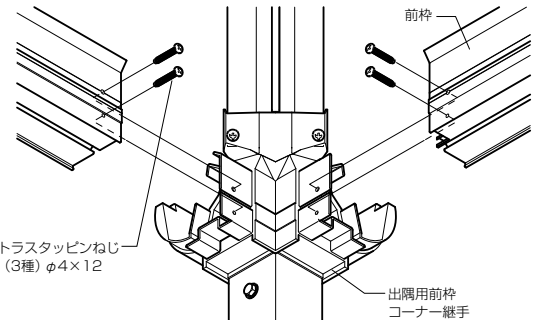
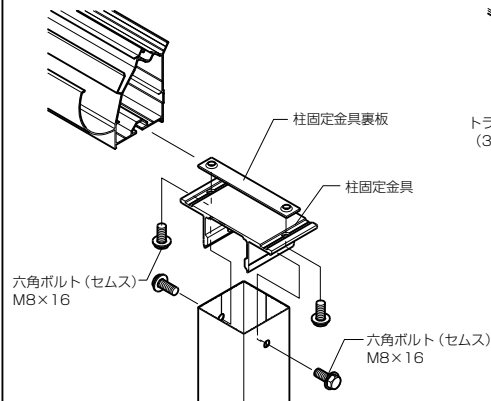
※この場所にねじ止めする場合は
ねじ周りにシーリングのこと (2カ所)



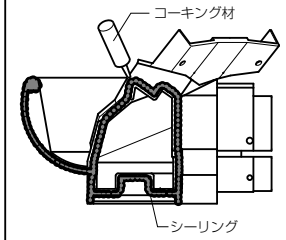
▲ 注意

●指定の個所に必ずシーリングしてください。

- ③出隅両端の柱の上部に柱固定部品を取付けます。
- ④出隅用前桢コーナー継手にシーリングし前桢を固定します。
柱に前桢を固定します。
- ⑤前桢連結部に連結カバーを取付けてください。
指示個所に厚み4mm位でシーリングをしてください。



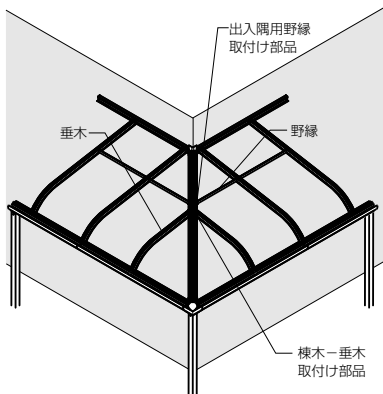
■シーリング箇所



▲ 注意

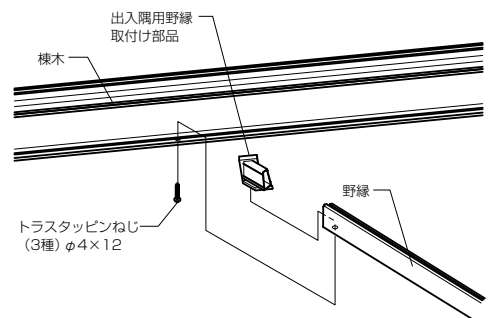
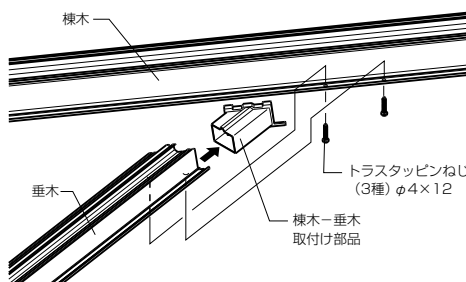
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

6 垂木・野縁の取付け



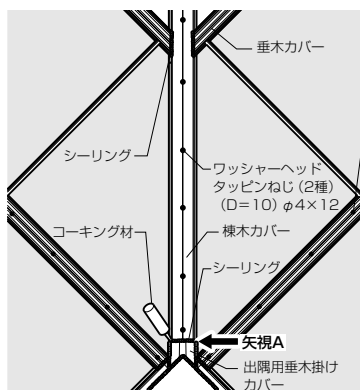
6 垂木・野縁の取付け

- 出隅用垂木 (野縁) の斜めに加工されている端部に、垂木・棟木 (野縁) 取付け部品を差込み棟木に固定します。
- 垂木・野縁をそれぞれ取付けます。



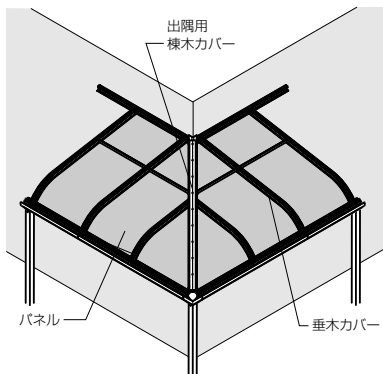
7 屋根パネル・棟木、垂木カバーの取付け

- グレイジングチャンネル (ℓ=30mm) を屋根パネルに取付け、垂木掛けに取付けます。(三角形のパネルにグレイジングチャンネルは付けません。)
- 棟木カバーを出隅用垂木掛けカバーの下にもぐり込ませて、ねじ止めしてください。
- 垂木カバーを取付けます。
- ※棟木カバーを止めるねじはワッシャーヘッドタッピンねじ (2種) (D=10) $\phi 4 \times 12$ を、垂木カバーを止めるねじはワッシャーヘッドタッピンねじ (1種) (D=10) $\phi 4 \times 10$ を使ってください。

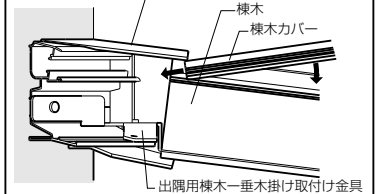


ワッシャーヘッドタッピン
ねじ (1種) (D=10)
 $\phi 4 \times 10$

7 屋根パネル・棟木、垂木カバーの取付け



■矢視A

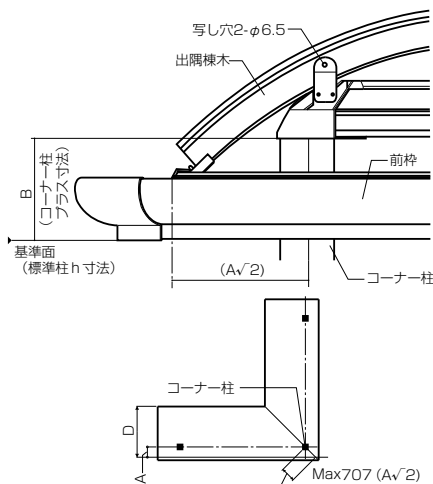
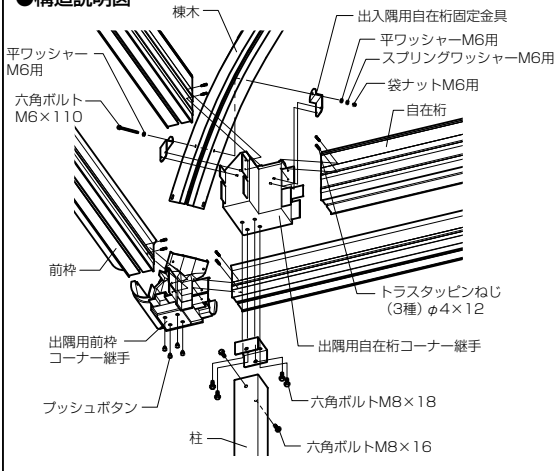


▲ 注意

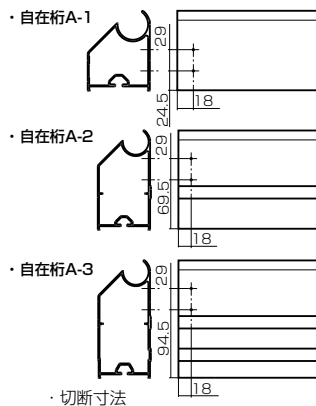
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。
- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板およびポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・トーレシリコン SE960

■自在桁仕様の場合

●構造説明図



●自在桁加工図 穴加工

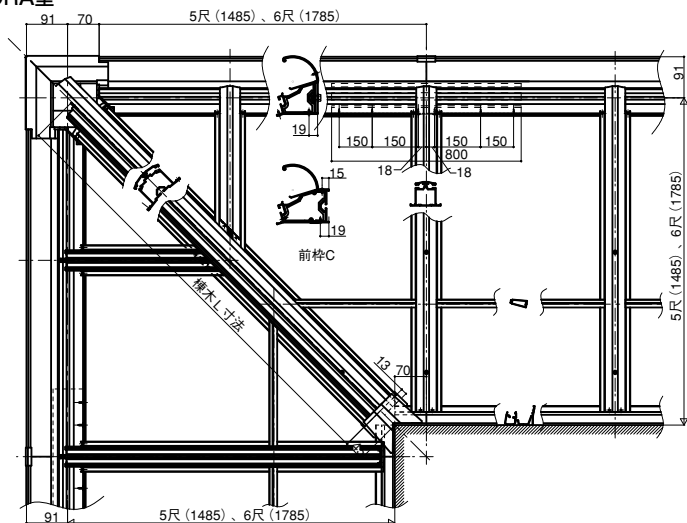


ℓ=D-A-34
A寸法 RB型 150~500mm
RA型 180~500mm

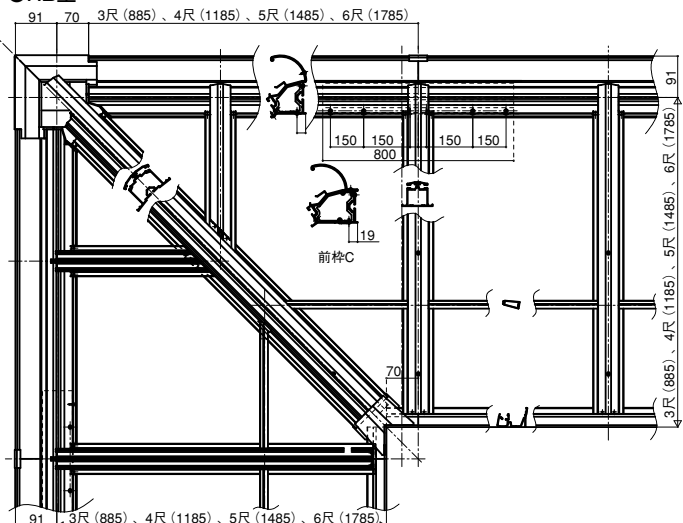
■納まり図

●姿図

●RA型



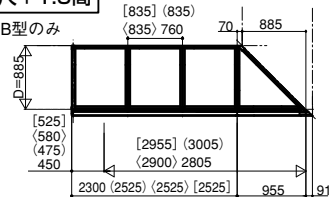
●RB型



●基本図

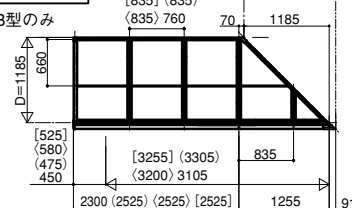
3尺+1.0間

※RB型のみ

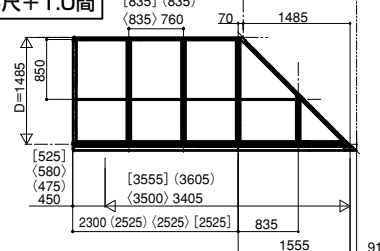


4尺+1.0間

※RB型のみ



5尺+1.0間



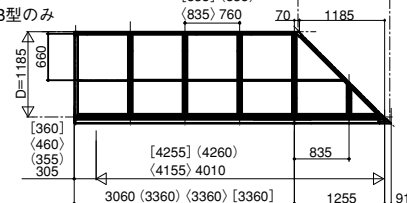
3尺+1.5間

※RB型のみ

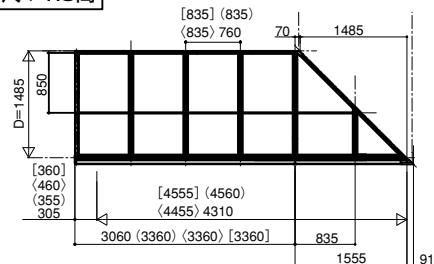


4尺+1.5間

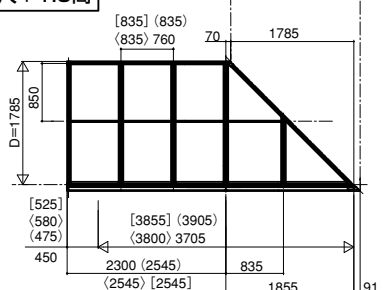
※RB型のみ



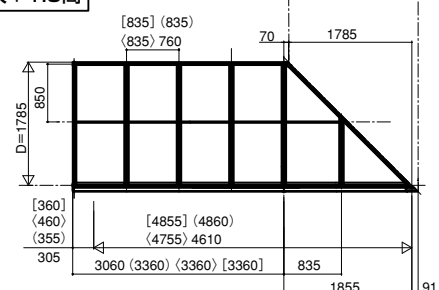
5尺+1.5間



6尺+1.0間



6尺+1.5間



() 内は関西間
< > 内は九州・四国間
[] 内はメーターモジュール